

12月8日(木)

予備自衛官への支援を！



千綿 正明

東北の大震災では、予備自衛官と即応予備自衛官の活躍が復興への大きな力となっている。ふだん民間企業に勤めているこの方々を支援するため、雇用する企業に対して、建設工事業者

を評価する際の主観点（評価点数）を優遇できないか。

答弁 主観点の社会貢献

の項目は、河川清掃等の社会奉仕活動への参加、子どもへのまなざし運動や消防団事業所への登録など、市が独自に定めた地域社会に直結した貢献を評価しており、現在、予備自衛官等の雇用を評価する項目はない。ただし、次回の業者登録ま

では、主観点を含めた入札制度全体の見直しが必要と考えている。主観点についても、基本的にはいろんな項目を盛り込みたいので、さまざまな課題を整理していききたい。

◆その他◆公共施設への無線LAN設置を／改正NPO法への対応について



車でにぎわい、開催目的の一つである中心市街地の活性化に一定の成果を上げてきたが、回数を重ねるたびに、オープニングイベントの日以外は人通りもまばらで、沿道のほとんどの店舗のシャッターが閉まっている状況になっている。このため、来年度以降のあり方を検討するサガ・ライトファンタジー検討委員会を設置し、環境や電力事情に配慮しながら、新たなスタイルや仕掛けによるライト

ファンタジーのあり方を検討することとしている。
◆その他◆佐賀の住みよいまちづくりについて／市立公民館の課題と今後のあり方について

最近、市民からサガ・ライトファンタジーがマンネリ化しているとの声を聞く。よって、やり方や設置場所の工夫・LED電球への切り替えなど、他の都市を参考にして抜本的な見直しをする時期ではないかと思うが市の考えを問う。

答弁 当初は多くの人と



サガ・ライトファンタジー オープニングイベントの様子

障害者基本法の改正に伴う対応



野口 保信

今回の改正で発達障害が定義として明確に位置づけられた。そこで①今後の対応はどう変わるのか②選挙における配慮があるが、すでに多くの市町が実施している投票所入場券の裏に宣誓を印刷し、障がい者の参加を促す考えはないか。

答弁 ①市全体で発達障害支援委員会を発足させ、早期に診断・療育し、市民全体で支援する体制づくりを行い、発達障害の方が住みやすくライフサイクルに

対応したい。要望があれば宣誓書を代筆するなど、これまで以上に親切で丁寧な対応をしていきたい。

◆その他◆中学校武道必修化に対する取り組みについて

従来のとおり投票所内で記載していただき本人を確認し



投票所のスロープ

フェイスブックの活用



山下 伸二

①フェイスブックを活用すれば、観光振興や定住促進にかなりの効果が期待できると思いますが②市職員が勤務中にフェイスブックに書き込むことを推奨し、情報発信や情報共有に役立っている自治体もあるが、佐賀市の考えは。

答弁 ①フェイスブック

の持つすぐれた機能を効果的に活用した観光情報の発信に積極的に努めたい。定住促進のためのフェイスブックの活用については、試験的に運用してみようと考えている②本市でも運用基準をつくり職員個人がフェイスブックを立ち上げているという事例が1件ある。職員が業務として時間中に書き込みを行うことは、運用基準から外れない限りはあり得るが、公私混同等に注意する必要がある。

◆その他◆市職員の能力を引き出すために／自転車事故防止のために本気の取り組みを



※2 インターネット上で人と人がつながる場所を提供するサービス。情報交換の場所として使われている。

公共下水道分担金 制度の見直しを



山口 弘展

金立・久保泉等新たな公共下水道処理区の受益者分担金について①接続しなれば分担金は発生しないか②市街化区域に比べ新たな処理区は一戸当りの平均敷地面積が約一・五倍と広く、その分負担増となる。制度自体の見直しが必要では。

答弁 ①受益者分担金は公共下水道を計画的に整備するための財源として、受益地内となる方に事業費の一部を負担してもらう制度である。公共下水道に接続しなくても、区域内に宅地を所有する方には分担金が発生する②下水道整備が市街化区域から市街化調整区域に移る際に様々な違いを議論し、その緩和策として、平成18年から千平米以上の宅地の減免規定を設けた。

宅地面積が非常に広い方も現行の規定で既に負担されしており、公平性等も考えるところのまま継続したい。

◆その他◆学校給食の一部民間委託について



下水浄化センター

危険箇所の交通安全対策を



松永 幹哉

国道263号線 大和町梅野渡月橋付近で交通死亡事故が連続して発生した。福岡との交通量も増えた中歩道もなく最も危険な場所が永きに渡り改善の要望が出ている。県の所管であるが、交通安全対策と道路整備を施すべきではないか。

答弁 カーブがきつく、また歩道がない危険な箇所であることは十分認識している。事故発生後、県・警察など関係者と立会を行い、カーブがあることがわかるよう、約300mにわたり「この先カーブ」との文字と誘導矢印が路面表示された。また、国道263号改良整備期成会の提案活動の中で道路管理者である佐賀県に対して歩道整備の要望を行ったところである。今

後も早期に改善できるようにさらに関係機関と協議を行っていききたい。

◆その他◆市立小・中学校の施設整備について／防犯対策について



渡月橋付近の危険箇所

12月9日(金)

自転車の安全利用のために!



池田 正弘

自転車を要因とする事故が多発し、社会問題となっているが①高校生や大学生などの年齢層に対する新たな取り組みが必要ではないか②自転車の加害事故が増加していることから、自転車損害保険への加入勧奨を

積極的に行うべきではないか。

答弁 ①高校へ配布している啓発チラシに事故のリスク・罰則などを新たに掲載したい。また、今年から看護学院や歯科衛生専門学校で始めた交通教室を大学や短大へも広げるとともに、入学式等の学生が集まるイベントに出向くなど、工夫した啓発活動を行っていききたい②自転車損害保険への

加入を促進することは、結果として自転車の危険性を自覚させることにもつながる。自動車と同様に加入が当たり前となるよう出前講座や街頭指導など、積極的な広報啓発活動に努めたい。

◆その他◆公文書の管理と情報公開について



ワクチンで救える命を救うために



山下 明子

ワクチンで防げる疾患の予防の徹底化は世界の流れである。世界標準の不活化ポリオワクチンの市独自導入、Hib、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチン助成の継続、高齢者用肺炎球菌ワクチンの独自助成とともに、国への働きかけを!

答弁 国は、不活化ポリオワクチンの導入までは生ポリオワクチン接種を推奨しているため、その導入までは生ポリオワクチンでの接種を継続していきたい。Hib、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンについては、国は24年度以降も継続の方向で検討しているため、今後も継続できるように検討していきたい。高齢者の肺炎球菌ワクチンについては、国における定期接種の方針決定を待つて導入したいと考えており、現段階で市単独の公費助成は考えていない。

◆その他◆災害から市民を守るための施策／暴力団排除条例の制定について／女性人材リストの活用



リフォーム助成の状況は



中山 重俊

住宅リフォーム助成制度は下水道工事店や建設工務店及び施工主からも大歓迎されているが①申請件数は②申請金額は③総工費は④2月末日までに工事完了・実績報告が出せなかつた時の対応は⑤3月補正予算の考えは。

答弁 ①10月20日の受付開始から12月8日までで749件②1億4300万円7千円③約10億8000万円④そのような状況や工事の完了がやむを得ず4月以降になり、補助金の支出が3月末を過ぎてしまうというところも想定しておく必要があるため、23年度の補助金の次年度への繰り越しに

関し県と早急に詰めていきたい⑤24年度予算の一部23年度3月補正への前倒し

等について県へ打診をしている。今後さらに詰めていきたいと考えている。
◆その他◆環太平洋連携協定(TPP)について/平成23年度第1回定期監査における指摘事項について



住宅リフォームのようす

原発事故は対策

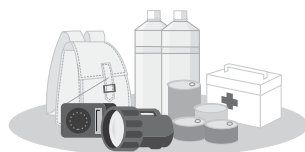


西村 嘉宣

先ごろ、県の原子力防災訓練が実施された。玄海原発で事故が起きたら被災者を受け入れる必要がある①避難所はどこを想定されるのか②除染はどうされるのか③除染によって生じた放射性物質は、どのように処理されるのか。

答弁 ①小・中学校や高校の体育館、市立公民館や文化会館、大和生涯学習センター等を避難所として指定されている②スクリーニング検査後、医師の問診を行い、このスクリーニングレベル以上の値が確認された場合には除染が行われる③除染作業において発生する放射能汚染物質の処理に関するマニュアル等は現時点ではなく、今後の検討課題とされているので、除染

方法や除染作業などで出たごみの処理については、より安全な方法を確立するように県に要請してきた。
◆その他◆支所の人員について/庁舎の節電について



12月12日(月)

ニーズにあわせた市営住宅の管理を



野中 宣明

少子高齢化にともない、市営住宅の建てかえ時には、福祉施設の併設や生活の利便性の確保が重要である。これは、市の検討事項でもあるため、地域の実情や住民ニーズの確かな把握と、官民連携による仕組みづく

りが必要と思うが。

答弁 住宅マスタープランや市営住宅ストック総合改善基本計画に沿って、今後の市営住宅建てかえ時には、実際そこに住む方々やその周辺の方々まで含めて、その生活の利便性や安全・安心の生活の提供に努めた

い。そのために関係部署だけでなく、学校や公民館とも情報交換を行いながら、できるものの検討は事前

積み重ねていきたい。また、官民連携による仕組みづくりについては、そのメリットを検証するとともに他の事例調査等を行い、導入の可能性を検討したい。
◆その他◆公園の維持管理について



高齢者の交通事故防止対策を



実松 尊信

①市民全体が高齢者を意識した思いやり運転を心掛けるべきだが気運を高めるにはどのような運動があるのか②反射材使用の周知徹底の方法は③高齢者は歩く速度が遅いなどの理由により道路の横断に不安を覚えている方が多いがその対策は。

答弁 ①年4回実施している交通安全運動で、重点項目として子どもと高齢者の交通事故防止を掲げ、市報や市のホームページ、街頭キャンペーンなどで啓発

や補修対応が必要な場合にはすぐ対応するなど、道路環境の維持に努めている。
◆その他◆スポーツ施設の充実について

②高齢者ふれあいサロンや老人クラブの行事などあらゆる機会を利用して反射材の効果をわかりやすく説明し着用の徹底を図りたい③バリアフリー対応型信号機などの設置に向けて県に働きかけたり、段差がなく滑りどめ加工した縁石の設置



江崎利一生涯の 保存活用を！



松永 恵明

蓮池地区の神埼町自治公民館は、江崎グリコ創業者江崎利一の生家であるが①利一の足跡と教育的意義をどう認識しているか②彼の足跡を今日の学校教育に生かせないか③利一の足跡を色濃く残せるよう支援策を検討してはどうか。

答弁 ①利一の希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志は、佐賀の子どもたちに学ばせたい内容である②平成13年に佐賀市教育委員会が作成した「ふるさと佐賀市再発見」という学習資料の中に、江崎利一の足跡を掲載して活用をしている。しかし、道徳教育に利用するだけの教材化はできていないので、今後検討したい③地域の先覚者としての情報発信を考えれば支

援の余地がある。生家をどのように保存するかについて地元と協議する必要がある。

◆その他◆食育推進／教育現場の多忙化解消



蓮池地区の神埼町自治公民館

12月13日(火)

スズメバチの情報 収集・対策徹底を



本田耕一郎

近年、市街地や通学路においてスズメバチの巣が発見されている。市民や子どもたちを守るため、市としてどのような対策を行っているか①市民からの情報への対応は②子どもたちから通学路等での情報収集は③

子どもたちを守る対策は。

答弁 ①まず巣の場所を確認し、民有地の場合は所有者、公共施設の場合は管理者に駆除を依頼している。管理者や所有者がわからない場合は、市で調査を行うため時間を要する②計画的な安全教育や日常的な安全指導を行っているが、今後は秋口のスズメバチの危険性等、子どもたちに対し、時宜を得た情報提供及び情

報収集に努めたい③授業で危険な動物や虫への対処方法を含めて教えているが、低学年の児童は的確な対応が難しく、地域の協力を得ながら安全確保に努めたい

◆その他◆設計委託について



スズメバチの巣

特別委員会

議会広報 調査特別委員会

当委員会は平成21年12月18日の設置以来、議会だよりの編集及び議会広報のあり方等の検討を重ねてきた。また、平成23年度からは議会報告会の実施主体として、その開催に取り組んだ。

まず議会だよりについては、市民との双方向的な広報を意識し、先進地視察で得た情報も取り入れながら、紙面の工夫に取り組んだ。また一方で、読者アンケートの結果を参考にした紙面の改善や掲載写真の公募などを行い、より市民ニーズにマッチした親しまれる議会だよりの作成に努めた。次に議会報告会については、市民との意見交換の時間を多く設けるなど、市民ニーズを把握できるように

開催方法を心がけた。また、自治会協議会幹事会との意見交換を行い、議会報告会への多くの意見を収集した。

今後さらに開かれた議会となるよう、議会情報を積極的かつ迅速に伝えるところに、市民の意見を広く収集していく必要がある、各種調査の結果を踏まえ、以下の結論に達した。

① 地方分権が進み、地方議会の重要性がますます大きくなってきているなか、議会広報紙の果たす役割も重要性を増している。今後も効果的な紙面づくりを図りながら、市民にとって分かりやすく親しみやすい双方向的な議会だよりの作成を行うべきである。

② 情報技術の発達に伴い、多くの情報伝達手段が確立されている。本市議会においても、インターネット環境等の進化に対応し、議会

③ 議会基本条例に規定しているとおり、議会は市民に対し議会の活動に関する情報公開を徹底するとともに、市民に対する説明責任を十分に果たし、また、議会独自の視点から、多様な広報手段を活用して、多くの市民が議会及び市政に関心を持つよう情報の提供に努めていくべきである。

④ さらに開かれた議会となるよう、議会報告会は、市民ニーズを的確に捉え、開催方法や内容を工夫していく必要がある。

